

みんなの「♥」が詰まったまちへ。

ひとりでは難しくても、一緒ならできることがあります。

三

芳で協働のまちづくりと共に進む官民連携の新たなまちづくり。協定に基づいて官と民がお互いの強みを活かした事業を行い、住民サービスの向上を図るこの取組は、町だけでなく連携先にとっても、認知度の向上やイメージアップなどプラスの結果をもたらします。

こうした互いの強みを活かすことができる官民連携は持続可能なまちづくりの可能性を秘めています。

一緒にならでできること

コロナ禍で顕在化しつつある様々な地域課題や、生活様式の変化に伴って生じる新たな課題。中には単独では解決が難しい課題もあるかもしれません。

しかし、ひとりでは難しいことも、同じ「想い」の人たちが手をつなぐことで、可能性は無限大に広がります。ひとりでは難しくても、一緒ならできることがあります。

みんなの想いが詰まったまちへ

「人と人をつなげたい」、「買物を身近に届けたい」、「地元を応援したい」など町への「一つひとつの想い」は、豊かなまちづくりのヒントになります。

住民、民間事業者、教育機関、医療機関など。多くの人と連携する三芳町のまちづくりは、多くの「想い」を魅力の種として拾い上げ、みんなの「想い」が詰まったまちをつくる。そんな取組の一步として動き始めていました。

— 特集・終 —

「埼玉セントラル病院」×「TOBIRA」



抗原検査キットの寄贈に来庁した埼玉セントラル病院の丸山院長（中）とウェルサイン社の芝崎代表取締役（右）。

産官医の連携に向けて

令和3年6月、TOBIRA（東京バイオマーカー・イノベーション技術研究組合）から新型コロナウイルス抗原検査キット1,000回分寄贈を受けました。この検査キットは、のどや鼻の入口を綿棒で拭いて自身で簡単に検査できるキットです。

15分ほどで検査結果が出ることから町の事業に参加する人に対して検査を行うことでクラスター予防が期待されます。

今後は、TOBIRAと町内の埼玉セントラル病院、産官医での連携に向けて協議し、住民の命と健康を守る取組を進めます。



▲寄贈されたウェルサイン社の検査キット



▲検査キットについての説明

「(株)イナホスポーツ」



協定締結式で町長と協定書を取り交わす株式会社イナホスポーツの丸笹社長。

地元児童の泳力アップ

子どもの育成に関すること、スポーツ・レクリエーション推進などを図るため、令和3年5月に(株)イナホスポーツと包括連携協定を締結しました。

この協定に基づいて、イナホスポーツが運営するスィンみよし夏休み期間中の7月11日(日)から、町内小学校に通う児童を対象としたプールの無料開放を行います。様々な制限を受ける中、子どもたちの成長、発散、泳力アップにつながる場となることが期待されます。

今後も教育だけでなく、健康長寿や福祉など様々な可能性を有するこの協定で住民サービスの向上を図ります。

スィンみよし

DATE

住所：藤久保 350-11
電話：049-274-7400

プール無料開放申込

詳細は
こちら



「コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)」



2018年8月、富士塚第一公園内に設置された柔道デザイン JOC オリンピック支援自販機。この自販機の売り上げの一部はアスリート強化支援に充てられています。

東京 2020 大会への機運醸成

まもなく開催される東京 2020 大会でオランダ王国とマレーシアを相手国としたホストタウンとして登録されている三芳町。ホストタウン事業等を連携して盛り上げるため平成30年7月にコカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)と包括連携協定を締結しました。

これまで、コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)から埼玉県内初の「柔道デザイン JOC オリンピック支援自販機」の設置をはじめ、大会エンブレム入りの三芳版メモリアルピンバッジ(今月のプレゼント)の贈呈①、マレーシア応援タオル贈呈②などで協力を得ており、相互に協力しながら東京 2020 大会への機運の醸成を図っています。



①



②

「女子栄養大学」



「癒しのレシピ」試食会での集合写真。

地産地消で味良しの魅力発信

みよし野菜を使った商品開発、食育、健康増進などを目的に平成29年10月に女子栄養大学との包括連携協定を締結しました。

毎年、協定に基づいて、女子栄養大学の学生①がみよし野菜を使った「癒しのレシピ」のメニューを考案。みよし野菜ブランド化推進研究会や福祉喫茶ハーモニーの職員などが試食したメニューのお弁当②を販売する事業が行われています。地産地消や食育を推進し、多くの人に味良しの魅力を届けています。



①



②